

ニカラグア定期報告（2024年9月）

【要旨】

内政面では、反政府勢力への取り締まりと関連する一連の法令が改正された他、オルテガ大統領の実弟（元国軍司令官）が逝去した。外交面では、ジェンスケ新外相が任命され、同新大臣が国連総会において一般討論演説を行った。また、ニカラグア人政治囚135名が釈放されグアテマラに移送された。経済では、中銀の報告により、2024年上半期のGDP成長率が4.7%と発表された。

【主な出来事】

1 内政

（1）資金管理強化等を目的とした一連の法改正

6日～13日付官報は以下一連の法令の改正を公示した。

- ア 「資金洗浄、テロリズム、大量破壊兵器拡散のための資金提供対策法」
- イ 「刑法第641号」：情報技術を用いた犯罪への処罰付与。
- ウ 「金融分析ユニット（UAF）法」：法人登記の徹底等。
- エ 「刑事訴訟法第406号」：国家警察による個人の通信情報等へのアクセス権限強化等。
- オ 「組織犯罪防止・捜査・追跡及び欧州財産管理法」

（2）サイバー犯罪法強化

11日、オルテガ大統領の緊急動議要請に従って当国国会は「サイバー犯罪特別法（法令第1042号）」の9条項について見直し・法改正を満場一致で承認した。同法改正により、ソーシャルネットワーク及びモバイルアプリケーション等の通信を通じたフェイクニュースやその他国民の危機感を煽るような情報の拡散に対する犯罪が実刑化され、関連犯罪の刑期の長期化と普遍主義に基づき個人・法人を問わず国内外における関連犯罪への法適用が可能となった。同改正法（法令第1219号）は、12日付官報に公示された。

（3）NGO一般法及び外国エージェント規制法改正

13日付官報公示の大統領令第13-2024号を以て、「NPO及びNGO規制と管理に関する一般法」及び「外国エージェント規制法」改正が公示された。同大統領令は、「協力の提携及び外国エージェントとの提携に関する規則についての特別規制」と題され、既に存在する両法を改定することで、既存（若しくは今後新設）のNGOは、国家機関との連携の下、計画するプロジェクト・活動を実施することとなる。

なお、同大統領令は、NGOによる協力関係の提携及び外国エージェントとの提携の申請承認過程を規定しており、内務省非営利組織規制・管理総局がこの任を担うことになった。

(4) スティッドマン・ファゴット・ミュレル大統領顧問の逮捕

14日、国軍はスティッドマン・ファゴット・ミュレル大統領顧問（対先住民政策担当）を、麻薬密売・組織犯罪への関与疑いにより逮捕した旨発表した。

(5) ウンベルト・オルテガ元国軍司令官（オルテガ大統領実弟）逝去

30日早朝、オルテガ大統領の実弟であるウンベルト・オルテガ氏が、軍病院において逝去した。同日、大統領府はプレスリリースにて、同氏のニカラグアの革命闘争活動における様々な功績を認め、同氏の家族へ追悼の意を表した。同氏は、6月11日より心臓疾患悪化のためマナグア市内の軍病院に入院するなどしていたが、9月29日朝、心臓発作のため集中治療室に移されていた。

2 外交

(1) 外相の交代

ア 5日、ムリージョ副大統領が、定例記者発表において、健康上の理由からモンカダ外相を解任し、バルドラック・ジェンスケ大統領顧問（国際問題担当）を外相に任命すると発表した。同人事異動については、大統領令として明6日付官報「ラ・ガセタ」にて公示された。

イ ジェンスケ新外相は、1979年7月のサンディニスタ革命における勝利後、内務省国家安全保障総局（DGSE）の職員として働き始め、2007年から21年まで外務次官、22年7月から駐コスタリカ・ニカラグア大使館臨時代理大使兼同大使館公使参事官を歴任。その後、2024年8月16日に大統領顧問に就任し、SICA事務局長候補としてニカラグア政府から推薦を受けていた。

(2) 第79回国連総会におけるジェンスケ外相の一般討論演説およびその動向

ア 30日午前、NY訪問中のジェンスケ外相は、国連総会においてオルテガ大統領とムリージョ副大統領のメッセージを代読する形で一般討論演説を行い、植民地主義時代を引き合いに出しつつ帝国主義と資本主義による世界秩序と同盟国への侵略行為の存在を非難した。

イ その他、同外相は、NY滞在中、未来サミットやG77+中国閣僚級会合に出席しスピーチを行った。また各国外相とバイ会合を精力的に行った。

ウ また、同外相は、ニカラグア・ソマリア外交関係樹立のための署名、アルバニアとの相互査証免除協定の署名を行った。

(3) 政治囚135名の釈放とグアテマラへの移送及び国籍剥奪

ア 5日、米国の働きかけを受け、いわゆるニカラグア人政治囚135名が釈放され、グアテマラに移送された。今回釈放された人々の中には、人権擁護者、カトリック信徒、そして福音派教会「山の扉（西語名：Puerta de la Montana、英語名：Mountain Gateway）」関係者13名が含まれる。

イ 9日、マナグア地区上訴裁判所第一刑事法廷は、共和国憲法、刑法、法令第1145号（独立・主権・平和のための自決権のための国民の権利擁護法）、法令第1145号（ニカラグア国籍喪失規定特別法）に基づき、グアテマラへ出国したこれらニカラグア人135名に関して同国籍剥奪及び全資産の押収を申し渡す裁定を発出した。

(4) ラウレアノ・オルテガ大統領顧問他のロシア訪問

8日、ラウレアノ・オルテガ大統領顧問は、ロシアにてヴァチェスラフ・ヴォロージン露国家院議長と会合を行った。

また、9日、ラウレアノ大統領顧問は、モスクワにおいてセルゲイ・ショイグ露連邦安全保障会議書記と会合を開き、政府転覆の企みに対抗するための安全保障面での関係強化について話し合った。

(5) 米国による民間航空会社への制裁措置公表

11日、米務省は、ニカラグアを経由する米国への非正規移民に便宜を図るチャーター機などを運航する欧州航空会社幹部らに査証発給制限を課す旨公表した。

(6) 建設機材購入のための対ニカラグア融資

22日、国会はベラルーシ開発下銀行による総額911万米ドルに及ぶ2つの融資協定を承認した。同資金は、当国運輸・インフラ省経由で主要街道の建設・メンテナンス機材導入に宛てられる。

(7) ニカラグアにおける初の孔子学院開設

23日、ニカラグア国立自治大学（UNAN）マナグア校内にて、ニカラグア初となる中国孔子学院の開設式典が開催された。同式典には、ラモナ・ロドリゲス国立自治大学（UNAN）マナグア校学長兼ニカラグア国立大学審議会（CNU）会長、ラウレアノ・オルテガ大統領顧問、Zhou Yi 駐マナグア中国臨時代理大使、孔子学院をUNANと共同開設した「中国昆明理工大学（University of Science and Technology of Kunming of China）」のTang Jiahua 理事長（博士）が出席した。

3 経済

12日、ニカラグア中央銀行は、2024年度第2四半期のGDP成長率にかかるプレスリリースを発出した。同報告によれば、当国における経済活動は成長を継続しており、第2四半期の前年同期比同成長率は4.4%、本年度累積経済成長率は4.7%となった。

分野別では、電力分野の成長率が13.6%、鉱山開発11.4%、ホテル・レストラン（観光業）8.8%、小売り・商店経営8.6%、運輸・通信7.1%、金融サービス6.2%など。

<主要経済指標>

| | 2022年 7月 | 2023年 7月 | 2024年 | | |
|----------------|-------------|-------------|---------|---------|---------|
| | | | 6月 | 7月 | 8月 |
| 年間累計インフレ率 | 7.58% | 3.39% | 2.86% | 3.02% | 2.53% |
| 貿易収支（百万ドル） | ▲317.2 | ▲302.8 | ▲281.7 | ▲350.6 | N.A. |
| 輸出 FOB（百万ドル） | 332.9 | 328.6 | 372.9 | 345.6 | N.A. |
| 輸入 FOB（百万ドル） | 641.5 | 631.2 | 654.7 | 696.2 | N.A. |
| 海外送金受取額（百万ドル） | 176.6 | 408.9 | 425.1 | 448.5 | 467.9 |
| 外貨準備高（百万ドル/期末） | 4,328.2 | 5,115.5 | 5,896.9 | 5,903.0 | 5,988.6 |

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））

（了）